

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	造血器腫瘍に対する臍帯血移植における移植後リンパ球・単球回復の治療成績への影響
	研究目的	同種移植において、臍帯血は確立された移植ソースの1つであり、骨髄や抹消幹細胞など他の移植ソースと比べ、HLA 不一致への寛容や GVHD の発症が少ない一方、免疫回復が遅延し感染合併率が高いとされている。臍帯血移植後の免疫回復の指標の1つとして移植後早期のリンパ球数・単球数が挙げられ、過去に予後への関連が報告されているが予後因子として確立はされていない。本研究では、当院で造血器腫瘍に対して臍帯血移植を施行した症例を後方視的に解析することにより、移植後のリンパ球・単球が予後に与える影響を評価することを目的とする。
	研究期間	2016年8月18日から2021年7月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	金森平和
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし